

平成28年度第2回会長杯B大会 連絡事項

選手の皆様、第2回会長杯B大会へのご参加ありがとうございます。

普及委員会では、選手の方々に、たくさん試合をして、楽しんでいただこうと考え、すべての種目をリーグ戦、あるいは予選リーグ・決勝トーナメントにしております。

シングルスについては主審・線審が不足することも考えられますが、その他の種目の方々にご協力をお願いします。

○組合せと棄権の扱いについては、次の通りです。

①男子シングルスは6ブロックで、4人リーグが5ブロックと3人リーグが1ブロックとなります。万一、3人リーグのDブロックに棄権が出た場合は、4人リーグのEブロックの4番目の方が移動します。

4人リーグで棄権があっても変更しないことを原則とします。

②女子シングルスとシニア女子ダブルスは5人(チーム)総当たりのリーグ戦とします。

③混合ダブルスは4ブロックで、2位までが決勝トーナメント進出とします。

Aブロックだけ5チームリーグになるので、他の4チームリーグに棄権が出た場合には、Aブロックの5番目のチームが移動します。

その他の棄権については変更しないことを原則とします。

④シニア男子ダブルスとシニア混合ダブルスは、それぞれ2ブロックにして、2位までトーナメント進出とします。

○審判について

★各種目ともリーグ戦は、コートを固定して行っていく予定です。したがって、その種目に参加する方全員で、主審・線審を行っていただきます。

①男子シングルスは、第1試合については本部で指示しますが、次からは、試合を終えた2人の方が線審に入り、主審を他のシングルスの方に行っていただきますので、試合のアナウンスにご注意ください。

②女子シングルスは、試合に入らない方3人で主審・線審を行っていただきます。

③混合ダブルスとシニアの各ダブルスは、第1試合を第2試合のチームに主審・線審を行っていただき、第2試合からは、前の試合で負けたチームの1人が主審、もう1人が線審、勝ったチームの1人が線審で行っていただきます。

★決勝トーナメントについては、敗者審判制で、そのコートで負けたチーム(選手)が主審・線審で、他の審判についてはその種目や他の選手の方をお願いしますので、試合のアナウンスにご注意ください。

※審判資格をお持ちの選手の方は、主審を2回以上された場合、審判手帳に押印しますので、本部まで手帳をご持参ください。